

基本目標Ⅰ 創造する力と生きる力、感性豊かな子どもを育む

I-1. 就学前の子どもたちが文化に触れる機会の重点的な創出

	年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)							
2	1	2 子育て施設課	人形劇の実施	I-1			○					各所で活動している人形劇団による、保育所11園での人形劇鑑賞。演目は「おひさま劇場」から2題で、文化性の高い内容のもの。各保育所等で上演することで、子どもたちに鑑賞機会を提供する。	行事と重ならないように実施時期の調整が必要。実施劇団の選定。	就学前の子どもたちが文化に触れる機会の提供継続に努める。					○	○						なし	人形劇団クラルテ	1,089		子どもたちに生のお話を肌で感じてもらえるよい機会である。事業の運営に関しては、所長代理会にて協議しながら協働団体と内容等を決めている。	A		○
	2	文化国際課	きしわだアートプロジェクト 就学前児童へのアウトリーチ事業	I-1	I-2		○					令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、感染症対策を考慮した事業を提案したが、保育所では保護者の園敷地内への立ち入りを規制している中で、アウトリーチ事業関係者が訪問する事を控えていただきたい。との意向で、事業の開催を断念した。	今後も続く可能性のある感染症対策として、園や保護者へ不安を与えず、園児との接触をなるべく避ける事業内容にする事に苦慮している。	ワクチン接種などの感染症拡大対策がいきなり、アウトリーチ事業が再開される日も近いと思われるが、感染症対策は引き続き必要と思われる。事業そのものを見直し、楽しくかつ安心できる内容にしていきたい。	○	○			○							毛帽子事務所		1,100	子ども達が芸術に触れる機会を「訪問」という形式にこだわらずに提案できたら良かった。	B		○	
3	2	図書館	読書活動事業	I-1	I-3	I-4	○	○			○	4か月児を対象に、絵本や子育てに関する情報をブックスタートセットとして1338人に配付した。市内各図書館において、お話し会34回、工作等の祝日おたのしみ会4回、科学実験教室4回等、子ども向け行事を計42回開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各行事において中止も多くあった。	子どもがその年齢にふさわしい物語に読み浸る余裕がなくなっている。親子に向けた読書推進活動を継続していくことが課題である。	子どもが読書に親しむきっかけとなるよう、今後も、ブックスタート事業、団体貸出サービス、市内小学校へのお話配達、市内各図書館におけるお話し会等が続けていく。	○	○	○	○		○			○			健康推進課、子育て施設課	岸和田市子ども文庫連絡会図書館ボランティア「だっこ」等	1,067	1,949	ブックスタート事業をはじめ、おはなし会などを積極的に取り組むことで、少しずつ読書推進へ繋がっていると感じている。また、学校とも連携を更に強化し、子どもへの読書環境を整えていくことが今後の課題である。	B		○

I-2. 子どもたちに対する文化プログラムの充実

	年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
4	2	生涯学習課	子どもの居場所教室事業(図工)	I-2				○				桜台市民センターを利用し、長期の休み以外の第2・4土曜日に2時間程度、図工教室を開講。	特になし	指導者引退のため令和2年度をもって終了	○	○	○			○					なし	なし	62		子どもが感受性や社会性を学ぶ場となっている。	B		
5	2	生涯学習課	少年教室事業(ジュニアオーケストラ・陶芸)	I-2				○				子どもたちが余暇に、文化活動を通じて、仲間づくりと併せて友情を育み、豊かな心を養うことを目的とした。市立公民館で、長期の休み以外の毎週土曜日に2時間程度開講。(陶芸については令和2年度実施なし)	特になし	令和3年度より「子どもの居場所教室」へ移行	○	○	○			○					なし	なし	336		学校外で継続的に取り組める文化活動の機会として重要である。また、異年齢交流の中で、人への思いやりやコミュニケーション力が培われている。	B		○
6	2	生涯学習課	地域教育支援活動事業(放課後こども教室)	I-2				○				市内の小学校(中央、天神山、修斉、春木、八木、山直北)と地区公民館(城北、光明)にて、水曜日や土曜日の放課後に、小学生に対し、スポーツや文化活動などの様々な体験活動の場を提供した。令和2年度は4教室(天神山、山直北、城北、光明)のみ実施。	ボランティアの高齢化と人数不足	令和3年度より学校教育課へ所管が移行	○	○	○	○		○		○			なし	・中央子ども教室 ・てんてん天神山子ども教室 ・城北公民館スクール ・学びの教室春木 ・八木っ子クラブ ・修斉放課後子ども教室 ・わくわく教室山直北 ・みんなの居場所にごにこ光明	392		新型コロナウイルスの影響で活動の制限がある中、それぞれの教室が工夫して様々な体験活動を子どもたちに与えてくれた。	B		○
7	2	図書館	自動車文庫事業	I-2	I-3		○	○	○	○	○	図書館から距離のある地域に19ステーションを設け、移動図書館車で出向き、資料の貸出し、返却等の業務を行っている。また、蔵書の限られたチビッコホーム39か所、公共施設10か所には毎月、幼稚園13か所・保育所等12か所には年3回配本を行い、その充実を図っている。	ステーションの中には利用の少ないところがある。移動図書館車両の老朽化。	自動車文庫事業の維持や継続も含め、ステーションの見直しや今後の自動車文庫のあり方を検討する必要がある。	○					○		○			なし	なし	14,108		図書館から距離があり、図書館に行くことが困難な市民に読書の機会を提供している。	A		○

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体										
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続		
2	生涯学習課	公民館親子文庫事業	I-2	I-3		○	○			○	読書を通し市民同士がふれあいを深める場とともに公民館活動の振興、充実を図るため、図書の貸し出し、整理、読書指導、おはなし会、・お楽しみ会等を行っている。光陽おやこ文庫(15回196人)、城北おやこ文庫いずみの会(33回26人)、光明とんぼ文庫(28回591人)、新条文庫なかよし(令和2年度から委託契約開始)(12回121人)に委託し実施。	コロナ対策の徹底 参加者の減少 後継者不足	実施場所である公民館、近隣の小学校、保育園、保育所と連携を取りながら、文庫活動の活性化を図る。	○		○	○			○				○				132		31年度から年1回の交流会を文庫活動のある地区館で開催。直接他の文庫の様子を見ていただく良い機会となっている。今年度から新たに新条文庫なかよしと委託契約を交わし、活動の幅が広がった。コロナウィルス感染拡大のため、利用者が減少した。	A		○
2	山直市民センター	学級講座等運営事業	I-2	II-1	II-7	○	○		○	○	公民館の主催講座においては、受講者アンケート等を実施し、生涯学習課や他の市民センターと調整を図り、市民のニーズに合う講座や時代の変化に対応する講座、学級を開設した。	専従職員の確保及び職員の資質の向上。	利用者団体と役割分担を明確にし、時代の変化に対応するよう見直しを図っていく。	○	○	○	○		○		○	○	地元町会 自治会回覧	生涯学習課	公民館登録クラブ等	872	364	地域住民が様々な学習を手軽に行える機会や場が提供できている。	A		○		
2	春木市民センター	学級講座等運営事業 (学級・講座)	I-2	II-1	II-7	○	○			○	市主催の定期講座・単発講座(親子対象講座、子ども対象講座、発声講座、お片付け講座、バレンタインコンサート等)・女性学級を開催し生涯学習の機会と場を提供している。	限られた予算で、より多くの世代や市民に公民館を利用してもらうための事業を検討する。	講座内容については、利用者のニーズに添った企画を検討するとともに、地域の特性を活かした事業を展開する。	○	○	○	○		○			○				781		各種講座については、コロナ禍の影響を考慮しつつ、利用者層の拡大につながる工夫や取り組みが必要と思われる。	B		○		
2	春木市民センター	学級講座等運営事業 (公民館まつり)	I-2	II-1	II-7	○	○			○	公民館分館まつりを、クラブ員による実行委員会形式で取り組む。クラブ員の自主性や参画意識を高め、地域住民へは、公民館活動の理解を深めることによって、地域における文化交流、仲間づくりをめざす。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、参加者及び関係者の健康と安全を最優先に考慮し、中止が決定となった。	①コロナ禍でも開催できる方策を検討する ②実行委員会が運営する力を高める ③参加者(各クラブ)の自主的な参画意欲を高める	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和3年度も中止となった。今後、実行委員会の企画力・運営力を高め、行政主導から市民主導へとシフトしていくことで、各クラブ活動の本旨である自主運営・文化活動の充実・発展、地域コミュニティの醸成につながる。	○	○	○	○		○		○							0		公民館まつりの開催は前回に引き続き、実行委員会形式にて取り組む予定であった。今後、コロナ禍でも実施できる方法を検討するとともに、参加者の意識を高め、実行委員会の組織体制(しくみづくり)を定着させていくことで、事業実施の安定を図る。	C		○
2	文化国際課	アートマルシェ	I-2	II-6	IV-1	○	○		○	○	市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。8月と3月に開催。8月は子ども向け、3月は大人向けといったように、毎回講座内容を変えて実施。(参加者8月284名、3月258名)	講座によって申込み状況にばらつきあり。コロナ禍でも安心して参加できて、バラエティーに富んだ講座の充実。乳児・障害児も参加しやすい講座の設定。	文化芸術に触れるきっかけとする事業で、多様なプログラムの充実を図っていく。マンネリ化を防ぐため新たな分野のワークショップを開拓したい。また、プロの芸術を間近に触れる機会も作りたい。	○			○		○			○		丘陵地整備課、水とみどり課	育成団体、当館を利用している教室、他	269	21	年々定着してきており、リピーターも多い。3月は「パンダ協定」を応援する企画とし、芸術で市の魅力をアピールすることができた。また、参加型アートを企画し、参加へのハードルを低くすることで、沢山の方に気軽にアート体験をしてもらうことができた。感染症対策をとり、無事に終えることができた。	S		○		

I -3. 小中学校などの学校教育機関における文化事業の推進・充実

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
2	学校教育課	読書活動事業	I-3							小中学校における読書活動をさらに推進し、児童生徒の読書意欲、読書週間を形成することや、読書活動の企画や立案、読書活動への支援や相談、学習に関する資料の提供、提案を行う学校図書館コーディネーターの派遣。(小学校週2回、中学校週1回)	限られた予算の中で小中学校への派遣をいかに安定させ、充実させていくかが課題。	中学校の派遣回数を伸ばしたい。 また、図書館業務を円滑に進め、活用状況を把握・分析できるシステムの導入を検討したい。													16,186		子どもへの読書活動の推進のため、充実に努めているが、人材の確保や限られた予算など工夫をしていく必要がある。	B			○
2	学校教育課	幼・小・中学校所属児童作品展示	I-3				○	○		市立幼稚園、小学校、中学校、高校に所属している児童・生徒の作品等を、市役所の廊下に掲示。HPIにも掲載している。	期日通りの回収・返却に時間がかかるので、掲示の入れ替えを頻回に行うことが難しい。	展示期間を少し長くした。HP等に掲載するなど、保護者を含む市民の方々に広く知っていただけるための活動の推進	○	○	○			○					広報広聴課		0		掲示作品を保護者等が観に来てくれる機会が増加している。	A			○
2	選挙管理委員会	選挙常時啓発事業 啓発ポスター募集	I-3					○		岸和田市内の小・中学校及び産業高校に対し、明るい選挙啓発ポスターの作品募集を行い、応募作品については市HPIに掲載した。	岸和田市内の各学校に依頼をしているが、参加する学校にばらつきがある。	今後も継続して事業を行い、明るい選挙に向けた啓発を進める。	○	○	○			○	○		○			公益財団法人 明るい選挙推進協会 都道府県選挙管理委員会連合会 大阪府選挙管理委員会	58		毎年多数の応募があり、明るい選挙について推し進めることができる。	A			○
2	人権教育課	人権教育・人権啓発事業	I-3					○		人権を守る作品展、巡回人権を守る児童・生徒作品展、いじめ問題啓発児童・生徒作品展	子どもたちの人権意識の育成を図る	子どもたちの人権意識の育成を図るとともに、児童・生徒等によるポスターや標語を展示する「人権を守る作品展」などによる啓発を充実させます。	○	○	○			○			○		人権・男女共同参画課	岸和田市人権協会	120		1,000人以上の市民が、児童生徒の作品や人権の取組に関するパネルやポスター等を鑑賞。参加者から児童生徒の作品について大変好評を得ている。	S			○

基本目標Ⅱ 輪を広げる

Ⅱ-1. 発表・鑑賞機会の充実

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
23	2 市民病院(経営管理課)	ギャラリーでの作品展示	II-1			○				○	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で作品を展示できない期間もあったが、作品を作成してもらえた時期には、市民病院の廊下にあるギャラリースペースに就学前児童が作った美術作品を展示。就学前児童の発表の機会であるとともに、来院される方々には子どもの感性が活かされる作品を鑑賞する機会となった。	展示作品入替え時のスケジュール調整	今後も引き続き展示を続けていく		○	○											0		来院された方で、立ち止まって眺めている姿をよくみる。子どもの季節に応じたかわいらしい作品に多くの方が癒されているのではと考えられる。	A		○
24	2 自治振興課	平和推進事業 子ども平和映画会	II-1				○			○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月実施予定を11月に延期したが、結果的に中止となった。	少子化の影響もあってか、近年入場者数の減少がみられる。	今後も映画を通じて、児童や保護者に平和の尊さを再認識していただく事業の一つとして継続し、平和推進を図っていく。			○	○					○					250	参加者数が今後も少子化の影響で減少すると思われる。これからも若い世代に平和推進をしていく必要がある。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。			○	
25	2 自治振興課	巡回平和パネル展	II-1							○	市民センター5カ所と市役所新玄関の計6カ所で、「沖縄戦とひめゆり学徒」に関するテーマとしたパネル展を巡回した。	市民センターのロビー等に展示しているため、実際の来場者数を把握することが難しい。	市民にとって、より身近な施設で開催することで、多くの市民に鑑賞いただくとともに、非核平和への意識が高揚していく機会としていく。		○	○	○		○			○				0	戦後75年の節目の年に、唯一の地上戦である沖縄戦を取り上げたことは非常に有意義である。	A		○		
26	2 自治振興課	平和推進事業 非核平和資料展	II-1				○			○	アフガニスタンやパキスタンで支援活動を行っていた故・中村哲医師に関しての展示(立命館大学平和ミュージアム、ベシヤワール会から借用)、平和バスの事業報告、現物資料、戦時中の岸和田に関するパネル、小・中学生が書いた平和に関する作品等の展示を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	非核平和資料展のテーマに苦慮している。	市民が「戦争の悲惨さ」や「核兵器の恐ろしさ」を知り、平和の尊さを認識してもらう。		○	○	○		○	○			○		平和を考える戦争展実行委員会			1,739 (総額)	最近まで活躍されていた中村哲医師を取り上げ注目度は上がっていたように思われる。来年度以降もこれからの担う世代に対して、平和の大切さを発信していきたいと考える。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。			○
27	2 市民病院 医療マネジメント課	ロビーコンサートの実施	II-1							○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年2回開催のロビーコンサートは中止となる。	入院されている患者様が癒される催しをコロナ禍でもできるように検討中。	継続して開催できるように改善していく。		○	○			○	○		○				20				○		
28	2 人権・男女共同参画課	人権を守る作品展 開催事業	II-1				○			○	12月の人権週間に向けて、「人権尊重」をテーマにした作品(ポスター、標語)を募集して、入選作品を12月に「人権を守る作品展(会場:マドカホール)」で展示するほか、1月、2月に「人権を守る作品展巡回展示(各市民センター)」で展示。マドカホールでの来場者は令和2年度は1,154名。	子どもは学校を通じて多数出品されるが、市民の作品応募が少ない。	引き続き作品展を開催することにより、人権啓発が図られる。作品応募について、市民協議会人権部会への案内を実施する。	○	○	○			○	○		○	人権協会や人権啓発企業連絡会に周知	人権教育課	岸和田市人権協会	113		作品の制作に取組んでいただき、またその作品を展示し市民の方々に見ていただくことで、様々な「人権」に触れ、大切なことに気づききっかけづくりとなっている。	A		○	
29	2 文化国際課	岸和田市市展	II-1							○	令和2年度は緊急事態宣言が発出され、新たな感染症に不安と対策も模索する中で、市展の開催して感染を拡大させてしまう懸念があるため、市主催の市展開催中止を決定した。	多数の来場者がある作品解説の開催方法を見直す必要がある。	展示ということで感染拡大の可能性が低いが、感染症拡大防止を講じながら開催したい。	○	○	○			○		○	○		市展委員会	71	1,847	「作品解説」の在り方を委員に問いかけ賛同を得られるような提案をしていきたい。	B		○		
30	2 文化国際課	岸和田市文化祭	II-1			○	○			○	自主的に岸和田市民が行う文化活動の成果を発表する機会をつくり、発表者と鑑賞者相互の交流を深めることにより、文化活動に対する意識の高揚と、文化の振興を図ることを目的とする。展示部門:参加申込18団体(内7団体辞退)・出品者数3,894人、舞台部門・参加申込15団体(内12団体辞退)・出演者数246人、来場者総数9,587人	参加団体の固定化と伸び悩み。参加者も学生と高齢者で2分化されており、中間層の参加が少ない。	引き続き、教育委員会と連携して、幼児や小中学生の参加を継続していく。中間層の参加を促すために、後継者の育成が必要。	○	○	○	○		○	○		○	新聞折込	教育委員会	文化祭実行委員会、文化祭サポーター	1,976	136	昭和23年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着しているが、新型コロナウイルスの影響で、申込の半数以上の団体が参加を辞退した。然しながら、参加団体は、それぞれ感染対策を工夫し、安全に発表・観覧を終え、本事業はコロナ禍での文化振興に寄与できた。	B		○	
31	2 生涯学習課	公民館まつり事業	II-1	I-2						○	新型コロナウイルスの影響で、令和2年度対象事業実施なし。 日頃の活動成果の発表・展示の場、自主的な企画・運営の場や、団体相互及び地域と運営の場や、団体相互及び地域との交流の場、また、来場者に生涯学習のきっかけを提供する場として開催し、あわせて、公民館利用のなお一層の活性化を図る。	公民館利用者の高齢化等の理由から、役員の担い手や登録団体の減少が課題である。	実行委員会形式で当課が事務局となり協働して開催していく。	○	○	○	○		○		○						40				○	

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
2	生涯学習課	フレンドシップコンサート事業	II-1	I-5			○			○	青少年音楽団体の研鑽と交流を図り、地域の音楽活動を推進するとともに、青少年文化の向上を図ることを目的とし、6月に浪切ホールにて開催している。参加団体(市内の学校や青少年による吹奏楽・合唱グループ等)で構成する実行委員会が企画・運営を行っている。 今年度は参加団体を募集したが、最終的に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止。	実行委員会による自主的、主体的な企画・運営を目指しているが、団体の役割分担の調整が必要。	より一層、参加団体が主体となり、企画・運営ができるようにしていく。	○	○	○	○		○						なし	フレンドシップコンサート実行委員会		576	実行委員会形式で運営することにより、青少年と成人それぞれの活動団体の交流となり、青少年にとっては、未来の活動の支えとなっている。	C		○
2	文化国際課	マドカ合唱祭	II-1	II-5			○			○	市内各所で活動している合唱の団体に、発表の場を提供するとともに他団体との交流を促進し、合唱活動を盛んにする。また、オープニングには一般の個人が参加できる機会を設けている。 令和2年度は、第1回実行委員会を実施したが、参加団体を募集する前に、緊急事態宣言発令により、中止を決定。	事業のPR、観客マナーの向上、出演者の高齢化への対応。7月下旬開催のため、暑さ対策が課題。台風など自然災害時のシミュレーションが必要。	事業の内容を工夫、充実していき、合唱祭の活性化を図る。	○	○	○	○		○		○	○		なし	マドカ合唱祭実行委員会		130	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。コロナ感染の対策をとりながら実施できる方法を模索中。	C		○	

II-2. 高齢者、障害者等の文化活動の充実

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
2	障害者支援課	地域生活支援事業(ふれあい作品展)	II-2				○		○	障害者週間において、障害児(者)の作品を展示する作品展を開催し、障害児(者)への理解を市民に広めるとともに、障害児(者)の社会参加の機会を広げることが目的としている。 参加者(出品者)数…(児)702人、(者)9人	休日に開催してほしいとの要望がある。	作品展等は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し例年通り実施予定とする。(但し、感染拡大状況により開催方法の変更或いは中止を検討する。)休日開催の要望については今後検討していく。	○	○	○	○			○				○	なし	(作品を出品する)市内小・中学校、支援学校	216		作品展は本課が企画・運営しており、展示の際は本課職員、出展学校の職員や出展する障害者が協力し、円滑に展示できている。	A		○
2	図書館	障害者サービス事業	II-2						○	視覚障害者に年4回郵送している「新着図書案内」の原稿を作成し、朗読ボランティア「ひばり」に録音を委託している。障害等により読書が困難な人に点字図書、録音図書の貸出や対面朗読サービスを実施し、来館が困難な人には宅配サービスも実施している。録音図書1, 644点字図書51冊貸出。宅配57回。	サービス対象者の高齢化と、新たな会員発掘のためのPR。	障害の程度や状況に合わせた利用者へのサービスを継続していく。						○				○		社会福祉協議会	岸和田市視覚障害者協会朗読ボランティアひばり	355		新型コロナウイルス感染拡大防止期間が長くあったが、その間も郵送による図書の貸出を継続できた。	A		○
2	福祉政策課	介護予防事業【高齢者趣味の作品展事業】	II-2	II-7					○	高齢者(岸和田市内に在住する概ね60歳以上の者)の豊かな経験と知識を活かし、生きがいや文化水準の向上、社会参加の促進を図るため、趣味の作品(短歌、俳句、川柳、俳画、書、陶芸、写真、絵画、手芸)を募集し、11月10日～12日の3日間、南海浪切ホールにて展示を行った。	限られた予算での事業のため、展示会場の設営準備作業等を外注できず、苦慮している。	更なる世代間交流(特に若い世代)を図れるよう、事業内容を工夫、充実していく。	○	○	○	○			○	○	○	○			450		幅広く認知された事業であり、継続していくことが必要。	A		○	
2	福祉政策課	介護予防事業【生きがいと健康づくり推進事業】	II-2	II-7					○	高齢者(市老連に加入する単位老人クラブを対象)の社会活動や地域活動、スポーツ・文化・娯楽活動等の健康増進活動の促進を図っている。	趣味の多様化のため、一部では、限定された参加者での活動となっている。	主体的に活動する人員への支援、育成及び世代間交流を図る。	○	○	○	○					○	○		市老連及び単位老人クラブ	1,304	1,686	コロナ禍のなか、感染拡大防止のため一部活動中止となる影響もあったが、各単位老人クラブにおいて創意工夫を図り実施している。	A		○	

Ⅱ-3. 国内外の演奏家や芸術家による演奏会や展覧会の開催

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
2	文化国際課	文化の日の祝典	Ⅱ-3	Ⅳ-2						○	各部門の事業の中止も多く、感染症拡大防止の観点から一堂に会して表彰式を行う事を断念。各課での表彰の対応を依頼。 例年は祝典の第二部として開催している事業を「文化祭記念コンサート」として行った。	緊急事態宣言解除後も感染拡大防止の観点から中止になった事業も多く、来年度の表彰者も少なくなる見込み。	感染症が落ち着いてきたら感染対策をとりながら再開される事業も増え、祝典が開催される日も近いと考える。			○	○		○		○	○			岸和田文化事業協会	229	4	各課での表彰となったが、市長公室での授与式となり、市長と会談ができる機会となった。 結果的には受賞者には思い出深い表彰式となり良かったと思われる。	S		○

Ⅱ-4. 文化団体への支援

年度	担当課	事業名	≪基本目標・各方向性≫			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
2	文化国際課	文化団体支援事業	II-4							○	特定のジャンルに限らずに包括的な取り組みをしている岸和田市文化協会、岸和田文化事業協会の活動を支援し、多くの市民が参加できる取り組みを協同して推進している。	後継者となる若い世代の育成が必要	各文化団体の特色を生かした活動を今後も継続し、団体の活動内容を広く知ってもらう。	○	○	○	○			○	○	○			2,230	90	団体活動の一部を支援できた。	A		○	

Ⅱ-6. 文化交流の促進

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報 きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
40	2 人権・男女共同参画課	男女共同参画センター・大宮地区公民館合同まつり事業	Ⅱ-6	Ⅱ-1	Ⅱ-5	○	○			○	新型コロナ感染防止対策のため、開催なし	・事業のPR方法	事業の内容を工夫し、より多くの参加者を呼び込めるようPR方法を工夫し、地域を含めた館の活性化を図る。	○	○	○	○		○			○		なし	なし		0				○
41	2 図書館	ブックフェスタ事業	Ⅱ-6	Ⅲ-5					○	○	まちライブラリー、公共図書館、書店など「本がある場所(ブックスポット)」が協力し、それぞれの場所で本にまつわるイベントを開催する。岸和田ブックフェスタ R2.10.4～10.18 6企画開催 87名参加	ブックフェスタ事業が庁内ではまだ浸透していない。	図書館に限らず、個人、団体、事業者、行政など、立場を超えて、本を通じて本と人、人と人がつながる企画を出し合うことで、参加者同士がゆるやかに出会い、交流し、学びあう場を生み出すきっかけとしてゆるやかに展開していく。	○	○	○	○		○	○		○			まちライブラリー@猿とモルターレ	0		毎年同じメンバーのみで開催するのではなく、少しずつ新たな企画者が出たり、新たな連携企画が生まれたり、形骸化しない仕組みとして定着しつつある。	A		○

Ⅱ-7. 生涯学習の推進と地域コミュニティの活性化



年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続			
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)									
2	図書館	図書館まつり開催事業	Ⅱ-7				○	○	○	○	令和2年度の図書館まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、実行委員会は3回開催し、来年度に向けての話し合いを重ねた。	市民全体へむけてのPR。メンバーの高齢化による体力的問題とスタッフ募集の拡充。	図書館内だけの事業だけでなく、市全体にむけたイベントの参加やPRの拡充。スタッフそれぞれが自主的に活動できるしくみづくりが今後の目標である。	○	○	○	○					○			なし	岸和田市図書館友の会、岸和田市子ども文庫連絡会、等			0	過去の図書館まつりのしくみから一新され、新たなボランティアスタッフの参加で、今後のビジョンに沿った活動が期待できる。メインのイベントである「古本リサイクル市」を今後どういう形で開催していくのが課題である。	B		○	
2	図書館	友の会支援事業	Ⅱ-7							○	例会(毎月1回/10回開催)、各教室(文章(毎月1回10回開催)・詩(毎月1回10回)・短歌(毎月1回8回開催)・俳句(毎月1回開催10回)・岸和田再発見毎月1回開催10回)、公開講座(岸和田再発見教室公開講座69人、文章教室公開講座10人)開催。「文学歴史散歩(高野山奥の院、丹生都比売神社)」の開催。24人参加。	会員の固定化・高齢化	まちライブラリーなどとも絡めた活動の広がり	○	○	○				○	○		○					58			公開講座の開催など、わずかなはあるが、新しい取り組みに関する考え方が定着してきた。	A		○
2	図書館	読書会支援事業	Ⅱ-7							○	若葉読書会については、開催時に見学者を募る等新会員の獲得を積極的に検討。しかし、4、5月は緊急事態宣言下のため中止となる。6月以降、会場を大きくし、配慮した上で実施された。(参加者7名程度)	会の希望する資料の複本が揃わず資料の選定に難行する。	資料の提供に関しては、相互貸借の運用を見直す等の対応を検討する。	○										なし	若葉読書会 星和台読書会		0			読書会に資料と場所を提供することにより、会員間で相互に読書を深める機会を作れている。	A		○	
2	生涯学習課	学び舎プログラム 学び舎ネットワーク (市立)	Ⅱ-7							○	市内5か所の市民センターと市立公民館を拠点とし、全世代を対象とした講座及び地域の人材育成に関する講座・イベントを実施する。市立公民館では「プロパフォーマーによるジャグリングショー&トークライブ」を行った。音楽のリズムに合わせたパフォーマンスを鑑賞し、トークショーでは講師が在日3世を理由に学校でいじめられていた過去の話や聴き、人権問題について学んだ。	公民館事業を知ってもらうために集客を見込める事業を行う必要があるが、事業費が低額のため有名な講師になかなかお願いできない。	全世代を対象とした、公民館を広く知ってもらえる活動を行っていく。						○	○		○						100			ジャグリングショーをきっかけに、幅広い年齢層が改めて人権問題について触れる良い機会となった。また今回公民館講座として初めて要約筆記通訳を設定し、今後の公民館講座の可能性を広げることもできた。	S		○
2	生涯学習課	学び舎プログラム 学び舎ネットワーク (山直)	Ⅱ-7							○	市内5か所の市民センターと市立公民館を拠点とし、全世代を対象とした講座及び地域の人材育成に関する講座・イベントを実施する。令和2年度は山直地区公民館周辺で、当日配布されるチェックポイント地図をもとに、参加チームがチェックポイントを回り、ゴール後に得点表に基づき得点を集計し、順位を競うイベントを行った。	公民館事業を知ってもらうために集客を見込める事業を行う必要があるが、事業費が低額のため盛大なイベントを行うことが難しい。	全世代を対象とした、公民館を広く知ってもらえる活動を行っていく。						○		○							100			地域の事業者や住民に、チェックポイントの場所設定に協力してもらうなど、地域の連携を図ることができた。	S		○
2	生涯学習課	学び舎プログラム まちづくり実践プロジェクト	Ⅱ-7							○	新型コロナウイルスの影響で、令和2年度対象事業実施なし。 従来では、市民が抱える生活課題や地域課題を市民自らが掘り下げ、その解決に向け生涯学習を生かした主体的な取り組みを委託する事業としていたが、年々参加を希望する団体が減少していることから、事業内容について現在検討中である。	参加団体の減少	事業の見直しを行い、市民が参加しやすい内容に工夫する。	○	○	○	○												500				○	
2	八木市民センター	学級講座等運営事業	Ⅱ-7	Ⅰ-2	Ⅱ-1		○	○		○	定期(4講座)、短期(6講座)および女性学級を開設・運営した。新型コロナウイルスにかかる緊急事態宣言等で中止になった催しもあったが、展示ギャラリーやストリートピアノの開設など、登録団体等と協働しできる限り催事の実行に努めた。	地域の実情に即した講座の開設が望まれる。また、一部事業については、事務局に運営を任せきりになっている。	講座の開設については、アンケートを活用するなど、参加者や地域の要望を把握する。また、主体性のある公民館活動を目指すため、協働しやすい環境をつくる。	○	○	○	○		○		○		生涯学習課	登録団体		947	293			気軽に文化、芸術に親しめるよう、展示や当日参加型の催しを開催した。講座に参加した方が、次の活動にスムーズに移行できるように工夫が必要である。	B		○	
2	桜台市民センター	学級講座等運営事業	Ⅱ-7	Ⅱ-1	Ⅰ-2		○	○		○	市民相互の結びつきと自主的な活動を支援するため、学級講座等を運営した。 令和2年度の7月後半から、通常の自習スペース以外に空き講座室を利用し、公民館開館時に自習室を開放した。 自習室利用者数:2,466人	魅力ある学級講座運営	自主的な学習活動の支援継続、魅力ある学級講座の運営、現代的課題の解決につながる事業運営	○	○	○	○		○		○	自治会回覧板	各センター生涯学習課	公民館活動団体		780	504			自主的な学習活動の意欲を高めていくための支援や、5市民センター共催のコンサートを開催した	A		○	

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
2	東岸和田市民センター	学級講座等運営事業	Ⅱ-7	Ⅱ-1	Ⅰ-2	○	○	○	○	○	令和2年度の定期講座は、成人対象の「ワンストロークペインティング」を開催し、年間195名の参加。短期講座として小学生以上を対象に「絵手紙体験講座」を開催し、15名の参加があった。今年度は緊急事態宣言発令による臨時休館や、公民館まつり等の中止決定により11月と3月に予定していたミニ発表会(展示の部・発表の部)は実施できなかった。	コロナ禍でも、実施できる講座や事業について検討していく。	生涯学習課や活動団体等と連携を図りながら事業の内容を工夫し、運営を行っていく。	○	○	○	○			○		○	○		生涯学習課	公民館活動登録団体 等	108	111	昨年度に引き続き、コロナ感染対策を取りながらの事業運営について検討していく。	B		○

Ⅱ-8. 行政施策への文化的視点の導入と連帯

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
2	都市計画課	公共サインガイドライン事業	Ⅱ-8	Ⅲ-3						○	市内で掲出されている公共サインの多くは、備えなければならない機能が不十分であり、景観にも大きな影響を及ぼすことから、公共サインのルールとなる岸和田市公共サインガイドラインを策定。	公共サインを設置する際には景観に配慮したデザイン・数量・大きさとし、安全に配慮した定期的なメンテナンスを行う必要がある。	本ガイドラインは各施設管理者が理解し運用を行うもので、今後も庁内及びその他の公共機関に呼びかけを行っていく。	○						○				公共サインを設置している課	岸和田市景観審議会、岸和田市環境デザイン委員会、大阪府	0		開始したばかりで大きな成果は出していない。	B	○	○
2	企画課	市制施行100周年記念事業	Ⅱ-8	Ⅲ-5						○	令和2年度は、広報及び普及啓発活動の一環として、ロゴマーク及びキャッチフレーズを募集し、決定した。また、多くの市民や団体等が参加できる体制として、産業・福祉・教育・文化等様々な分野の団体で構成する実行委員会を設立し、記念事業の実施に向け、会議を開催し、企画・検討を行った。	事業への市民の参加率が低い	市広報紙だけではなく、SNS等を活用するとともに、実行委員会とも連携を図り、周知・広報活動に力を注いでいく。		○		○		○	○		○			岸和田市市制施行100周年記念事業実行委員会	239		令和2年度はロゴマークとキャッチフレーズの一般投票を実施したが、投票数が振るわなかった。今後、庁内外において、引き続き記念事業の検討を行うが、より多くの市民の方に参加していただけるよう周知・広報活動にさらに力を入れていく。	B	○	○

基本目標Ⅲ まちの魅力を高める

Ⅲ-1. 歴史や文化財等への理解の促進と活用

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
2	観光課	城周辺整備計画推進事業	III-1							○	石畳と淡い街灯まちづくり支援事業により整備された岸和田城周辺地区において、キッチンカーイベントなどのソフト事業を実施することで、交流人口の増加による賑わいの創出に取り組んだ。	次期岸和田城周辺整備計画の策定	ソフト事業を継続実施するとともに、次期計画の策定については、市庁舎建替えの方向性がある程度見極められた段階で検討していく。			○	○		○	○				水とみどり課、郷土文化課	岸和田市観光振興協会	0		市庁舎建替えの方向性が示されたことにより、休止していた本計画も再開していく。	B		○
2	郷土文化課	郷土資料等展示事業	III-1							○	岸和田城展示室において、郷土の歴史・文化を主テーマとした展示を実施。常設展に加えて、年3回の企画展を開催。	展示内容の充実化	来場者に対して本市の歴史・文化を紹介することで、文化財を通じて本市の魅力を周知し、郷土愛を育む活動を行う。			○			○	○	○	○			1,659		来場者の増加のために、理解しやすい説明キャプションを作成する等、工夫を行った。また、事業の充実を図るため、より一層の周知をしていく必要がある。	A		○	
2	郷土文化課	郷土文化普及事業	III-1							○	市指定天然記念物兵主神社社叢に説明板を設置。	設置した説明板の周知。	説明板を設置することにより、文化財を周知するだけでなく、観光資源の一つとして活用していく。				○		○		○				780		市内一円の文化財を面としてをさらにPRできるよう、説明板の設置を周知する必要がある。	B		○	
2	郷土文化課	濱田青陵賞事業	III-1							○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の事業は中止。	事業の周知方法。緊急事態宣言下の運営の仕方。	考古学の学術文化賞では最高位の賞であり「考古学の芥川賞」と呼ばれる賞として認知度、ネームバリューを活かした観客のさらなる裾野の拡大を目指す。		○	○			○	○	○	○	朝日新聞の紙面	朝日新聞大阪本社生活文化部		2,348	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となったが、岸和田市が全国に誇るべき学術文化賞であり、朝日新聞との協働により紙面提供を受けるなど、非常に低予算で実施出来る。	A		○	
2	丘陵地区整備課	お茶畑再生プロジェクト事業	III-1	I-3			○				内畑町にてかつて栽培されていたお茶畑を地元の小学生(山滝小学校)とよみがえらせるプロジェクト。㈱伊藤園を講師に迎え、1年生はお茶についての講義を受けチャノキを鉢に植える。2年生でお茶畑へ移植するが令和2年度はコロナの影響により、まちづくり協議会役員で行った。6年生は茶葉の加工を体験する。	お茶畑の管理及び拡充。	本プロジェクトを引き続き行いながら、関係団体と協議し、内容について工夫していく。				○		○	○				ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会・株式会社伊藤園	267	300	かつて地元で行われていたお茶の文化に触れる機会として貢献した。コロナの影響で、2年生の実施内容を十分に行えなかったため、今後はコロナ対策について検討が必要。	A		○	
2	観光課	岸和田城管理事業	III-1	III-4						○	お城まつりの期間中に妖怪書家の逢香氏の展示会を実施。 また、天守閣望楼においては、岸和田城ウエディングを通年実施している。オンラインツアーに協力するなど、PR活動を行った。	利用者が伸び悩んでいる。 施設設備の老朽化が顕著である。	天守閣の耐震及び活用について委員会を設置して検討していく。			○	○		○	○	○	○		水とみどり課・郷土文化課	岸和田市観光振興協会	32,764 (指定管理料含む)		岸和田城は、本市のシンボルであり歴史・文化・観光の拠点として位置づけられており、関係機関とも連携し、岸和田城の付加価値を高める取り組みを行っていく必要がある。	B		○

Ⅲ-2. 伝統行事の保存・継承

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報 きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
2	観光課	だんじり会館指定管理事業	III-2							○	だんじり彫物の写真展(期間中の入館者3,126人)や彫り師による実演(入館者254人)を開催。新型コロナウイルス感染拡大の影響で数が少なくなったが、だんじり祭に関わる文化の発信に努めた。	入館者数の停滞 施設設備の老朽化	指定管理者と連携し、全国的に知名度のある「だんじり」という他にない資源を最大限に魅力発信し、年中通じて活用できるブランド化に取り組む。						○	○	○	○				63,717		新型コロナウイルス感染拡大により、例年行っているだんじり文化に関するワークショップや展示のほとんどが実施できなかった。		B		○
2	観光課	だんじり祭支援事業	III-2							○	令和2年度だんじり祭曳行中止のため、ポスターやうちわの製作の広報活動のみ実施した。また、だんじり保存会への補助金を支出。	観光客の一極集中化 ゴミ・トイレ・駐車場などの受け入れ環境の整備	観光客の受け入れ体制を整えるとともに、だんじり祭を側面・後方から支援することによって、明るく楽しい市民の祭にしてい	○	○	○	○		○	○	○	○			岸和田市観光振興協会、岸和田地車祭保存会、祭礼各団体	18,332	22,536	伝統的地域文化の継承を図るとともに、市民はもとより観光客に気持ち良く楽しい祭と感じてもらえるよう、関係団体とも連携し、祭の一層のブランド力の向上を目指す必要がある。		C		○
2	郷土文化課	文化財保存支援事業	III-2				○			○	主に、民俗文化財の継承、保存のための補助金の交付。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が2件中止になる。	後継者の育成	指定文化財が後世へより良い形で継承、保存していけるように、保存会並びに所有者への支援を継続していく。	○	○	○	○		○							426	748	今後も保存会、所有者との連携の強化、保護に努めたい。		A		○

Ⅲ-3. 自然環境や景観との調和

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
2	丘陵地区整備課	丘陵地区整備事業	III-3							○	本事業では都市・農・自然が融合したまちづくりを推進しており、事業の一環として丘陵地区に生息するフクロウをシンボルとして里山環境の再生保全を目的としてフクロウの森再生プロジェクトを実施している。自然エリアの良好な里山環境の保全と創出を目指して、ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会と協働で森林レクリエーションイベントを開催した。	広報活動の強化	継続してイベントを実施することにより、市民の自然への関心を高める。					○	○							ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会	0		イベントを通じて、取組みの趣旨を伝えることには一定の効果があった。今後は市主導の運営体制から協議会主体で取組みを進めてもらえるような組織体制の構築が必要。	A		○
2	環境保全課	環境保全事業	III-3							○	きしわだ環境フェア2020の開催 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催を中止した。	環境保全に取り組んでいる団体を把握すること。開催地の選定。	環境に対する市民意識の高揚を促すため、今後も多岐にわたる分野での啓発を実施したい。	○	○	○	○		○	○		○					0				○	
2	環境保全課	自然環境保全事業	III-3							○	里山保全のボランティアに関心のある人に対し、里山及び里山保全活動に関する知識及び技術の基礎を講習することで、里山保全活動の担い手を育成した。	年々、講座参加者が減少しており、広報きしわだ等だけの募集以外も視野に入れる必要がある。	里山保全活動の担い手が増え、活動の活性化を目指す。				○	○			○			NPO法人 神於山保全くらぶ	149	125	今後も市民、ボランティア、行政が協働で自然豊かな里山を維持していく必要がある。	A		○		
2	都市計画課	景観形成事業	III-3							○	住み良い文化的で潤いのある美しいまちを創出するため、岸和田らしい景観を保全形成を目指す啓発事業の取組の1つとして、ここに残る景観資源発掘プロジェクトを実施。令和2年度は、「ひとの営み景観」について、応募件数49件の中から、まちかど審査(市内9か所延べ1262人)により10箇所を景観資源として指定し、PRを実施。	発掘した資源を広く周知し、市民の景観に対する意識や地域への愛着の向上を図る。	様々な情報ツールを活用して、広報を強化するとともに、観光・教育や環境部局との連携を図り、幅広い年齢層への啓発を図ってきたい。				○	○	○	○	テレビ岸和田番組表(Vision)	各市民センター、図書館、産業高校学務課	和歌山大学、観光ボランティア協会、商工会議所、テレビ岸和田	886		応募件数は開催年度によってばらつきがあるが、まちかど審査は周知されてきており、今後も啓発に努めたいと考えている。	A		○			

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
	2 都市計画課	街づくり支援事業	III-3				○		○	○	日常生活の中で誰もが利用する「駅」周辺を、地域住民を含めた関係者(鉄道・バス事業者、商店街、学校等)と行政が協働して「美しく個性がきらめき、魅力ある空間に再生」し、まちの活性化につなげていくプロジェクトを実施している。毎年4月に「ハンキングバスケット講座」、5月に「ガーデニングショウ」で展示し駅周辺の活性化を促進しているが、いずれもコロナ禍で中止となった。	地域住民の参加者の高齢化が進んでおり、世代交代を進める必要がある。また、運営資金が減少してきている。	地域住民へのPRをより行い、参加者の世代交代を進める。市民団体等と運営資金等についても話し合いながら、地域住民の交流の促進や、駅周辺の活性化を進めていく。	○	○	○	○		○				○		東岸和田市民センター	旭・太田市民協議会、旭校区連合町会、太田校区連合町会、リハープ全体管理組合、大阪府岸和田土木事務所	128	852	ハンキングバスケット講座では、地域住民同士の交流を促進し、また、小中学生達の文化事業の充実にも寄与している。ガーデニングショウでは駅周辺の活性化に寄与し、毎年楽しみにしている住民も多くいる。	A		○
	2 都市計画課	歴史的景観保全支援事業(家屋修景助成)	III-3							○	住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区における家屋修景に対して支援を実施。	建築基準法の形態規制を遵守しつつ、本町の歴史的まちなみの特徴を備えた建築物に調和させることが困難な状況にある。	歴史的まちなみやこれと一体となり歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において家屋修景への支援を継続して行う。						○				なし	歴史的町並み保全基金運営委員会	4,000		歴史的まちなみ保全地区において家屋修景を行うことにより、歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A		○		
	2 郷土文化課	自然資料館普及・展示事業	III-3			○	○		○	○	身近な自然の多様さを学び、郷土の自然と自然保護への理解を深め、環境や自然科学への関心を高めるため、野外観察会や室内実習、展示等の事業を実施した。感染症拡大のため特別展を中止したり、行事の定員を減らしたりするなど、事業を縮小せざるを得なかった。	学校園との連携強化 オンラインによる授業、行事等の実施手法の確立	事業内容の質的向上および就学前児童向けプログラムの充実を継続し、自然環境や科学技術、博物館、SDGsに市民の関心を得るよう取り組む。	○	○		○		○	○	○			図書館、産業政策課、丘陵地区整備課	近隣博物館、NPO大阪自然史センター、きしわだ自然友の会等	5,431	5,848	感染症防止の観点から臨時休館や普及・展示事業の縮小を余儀なくされたが、オンラインを活用したイベントを実施するなど、新しい形態での事業展開を試みた。	A		○	
	2 廃棄物対策課	まちを美しくする市民運動推進事業	Ⅲ-3	Ⅱ-1	I-5		○			○	まちの美化、青少年の健全育成、緑の保全及び推進について標語・ポスターを募集。標語239点、ポスター399点の応募があり、標語20点、ポスター40点を選入作品とし、表彰及び展示を行った。	なし	市内各校から広く応募できるように工夫しながら、応募数が増えるようにしたい。	○	○	○			○			各学校に応募依頼文書を送付		まちを美しくする市民運動推進協議会	196		市内の各団体で組織されている協議会の取り組みが理解され、市民に広がることを期待するためには有意義な事業であると認識している。	A		○		
	2 都市計画課	歴史的景観保全支援事業(団体活動支援)	III-3	III-5						○	住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において景観啓発に寄与する団体(本町のまちづくりを考える会)の活動に対して支援を実施。考える会は様々な活動を行っているが、令和2年度は、“おもてなしの心”を盛り込みながら、歴史的まちなみに合わせて案内板や掲示板を設置する案内板・掲示板プロジェクトを実施した。	支援している団体における役員の高齢化が進んでおり、世代交代を模索している。	自主運営を基本としつつも、担い手育成や世代交代に関する情報を収集するなど、きめ細やかな情報提供を実施すべき。	○	○	○	○		○	○		○		なし	本町のまちづくりを考える会、歴史的町並み保全基金運営委員会	100		対象団体の支援を実施することにより、歴史的まちなみ保全地区における景観啓発が実施され、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A		○	

Ⅲ-5. イベントを活用した魅力あるまちづくり

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
2	企画課	中心市街地活性化事業	III-5							○	岸和田市中心市街地活性化基本計画に沿って、各種事業を推進している岸和田TMO(商業まちづくり機構)、商工会議所等との共同事業として開催するイベントへの参画。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、春及び秋の「みんなDay参加！どんちゃかフェスタ」の開催を中止した。	岸和田TMOとの関わり方や、部会事務局としての役割について整理が必要。	関係各課と連携し、中心市街地の活性化が図れるよう支援していく。	○	○	○	○		○				○		産業政策課・都市計画課	岸和田商工会議所	0 (TMO支援事業として産業政策課の支援有)		各種事業について、庁内関係部局と連携しているところではあるが、より効果的な取組を実施するため、更なる連携強化が必要。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら実施できる方法を模索中。	C		○

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続			
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)									
2	自治振興課	市民活動団体支援事業	III-5							○	○	市民フェスティバル・中央公園にて開催。参加団体に模擬店、展示、フリーマーケット、地場産業振興等の場を提供し、岸和田市民相互のふれあいの場とし、市民参加の祭りの場として豊かで暮らし良い町づくりに寄与し、地場産業振興に貢献することを目的とする。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止	事業を運営している実行委員会メンバーの高齢化が進み、担い手の育成が必要。	事業の内容を工夫や充実させ、市民フェスティバルの活性化を図る。	○	○	○	○		○				○			岸和田市民フェスティバル実行委員会		1,700	事業の運営、及び活動に対して補助金交付を行っているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止				○
2	農林水産課	農業振興事業 農業まつり	III-5							○	○	市民の農業に対する理解や認識を深め、農業振興に資するため農業まつりを開催する 農業者の表彰、展示即売会、試食会、ステージ企画等を行い、農産物等の紹介、農林業の啓発と都市住民との交流等の機会の提供 入場者数は約8,000人 令和2年度は、緊急事態宣言をうけ中止を決定した。	ステージ参加者や入場者のための駐車スペースが確保できない。参加団体には相乗りするなどの協力を依頼しているが、徹底されていない。	企画内容の工夫などをしていき、農業まつりの活性化を図る。			○		○			○		農協の広報紙	都市計画課	JAいずみの・大阪府・農業委員会・農業研究クラブ協議会・果樹振興会・林業活性化協議会・岸和田市漁業協同組合 他17団体	101	1,899	岸和田市において農業は主要な産業のひとつであり、その振興は今後益々重要である。参加団体の意欲を高め、より協働できる仕組みづくりが必要。	A			○	
2	農林水産課	農業振興事業 農業体験	III-5							○	○	市民参加によるじゃがいも(35組)、サツマイモ(30組)の収穫体験 緊急事態宣言のため、サツマイモの収穫体験は中止。	申し込みが増え、抽選をしなければならない	事業の内容を工夫し、参加者の拡充を図る。					○		○				きしわだ生き活き農業応援団	500		委託事業としては、参加者には満足していただけている。	A			○		
2	産業政策課	港振興協会助成事業	III-5								○	港まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 体験航海は巡視船の派遣ができずに中止。	花火打ち上げ場所の検討。	新しい生活様式に対応した、密を避けた形での花火大会の検討が必要。					○	○				なし	なし		19,199					○		
2	観光課	観光振興事業	III-5								○	新型コロナウイルス感染拡大の影響で例年どおりのイベントが実施できない中、Instagramを活用したイベントやオンラインツアーを実施した。また、外国人観光客が入国できないため、ARを使ったアプリの開発やデジタルサイネージの案内板を設置する等、受け入れ環境の整備を行った。	魅力ある地域資源の利活用が不十分である。 プロモーションをはじめとする効果的・効率的な情報発信が出来ていない。	平成28年度に策定した「第2次岸和田市観光振興計画」に基づき事業を推進していく。	○	○	○	○		○	○	○	○			岸和田市観光振興協会 岸和田商工会議所	30,586	16,623	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光を取り巻く状況は著しく変化しており、時流に対応した観光振興施策に取り組む必要がある。	B			○	
2	広報広聴課	シティセールス プラン推進事業	III-5	III-1							○	SNSを活用した市の魅力発信を目的として、市内外問わずInstagramユーザーを対象にInstagram上で「第3回きしわだフォトコンテスト」を実施。応募件数533件。 食・遊・魅をテーマに3本の岸和田市魅力Movieを作成。 岸和田市産の食材を用いた料理教室を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	応募者の顔ぶれが変わらない。 R3年度は複数回受賞者に審査員になってもらうなどして開催予定。回数を重ねてきた為、今後の開催方法などに変更の必要がないか検討の必要あり。	公式Instagramのフォロワーは少しずつではあるが増加中。フォトコンテストはInstagram上のイベントとして浸透しつつあるため、継続的な取り組みが必要。	○	○	○	○		○	○	○				1,361	1,568	募集期間前から、コンテストを意識した写真を投稿するフォロワーもあり、Instagram上のイベントとして浸透しつつある。新規フォロワーも少しずつ増えてきていることから継続的に取り組んでいることが効果につながってきている。	A			○		
2	産業政策課	商工業振興事業	III-5	III-6							○	①産業フェアは令和元年度をもって廃止。 ②きしわだ歌謡祭は令和2年度以降廃止が決定。 ③岸和田おみやげ委員会は平成29年度をもって廃止。	事業目的と効果の関係が明確に現れていない。	当該事業はすべて廃止			○	○	○		○		○				20	事業目的と効果の関係が明確に現れていないことから各事業を廃止とする。	C					

Ⅲ-6. 伝統工芸品の価値発信、新産業の創出

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
2	産業政策課	岸和田ブランド事業	III-6							○	岸和田らしさを備えた優れた産品を岸和田ブランドとして認定し、情報発信や販売促進を推進することで岸和田市の知名度向上を図っている。令和2年度は、5品目の再認定を行い、22事業者23品目となった。イベントは、「泉州広告(株)と連携した情報誌の読者プレゼント企画への参加」、「和歌山大学岸和田サテライトと連携した、わだいに浪切サロンでの岸和田ブランドの紹介」などを行った。	岸和田ブランドのロゴマークの周知	岸和田ブランドのさらなる認知度向上のために施策を展開していく。		○	○				○	○	○	○			岸和田商工会議所、泉州広告(株)、和歌山大学岸和田サテライト	646		岸和田ブランドの認知度のさらなる向上のため、新しい生活様式を意識しながら、多くの人の目に触れるように各種イベントへの出展を行っている。	A		○
2	産業政策課	中小企業支援事業	III-6							○	コロナ禍の中、事業が実施できなかった。	製品の研究開発及び販売促進	岸和田市の繊維産業の活性化および繊維商品の全国的な周知			○	○			○				なし	岸和田商工会議所、夢つむぎ会		500	コロナ禍の中、活動が中止してしまい、進展がなかった。	C		○	
2	産業政策課	伝統工芸品振興事業	III-6							○	大阪泉州桐箆管製造協同組合が令和2年11月5～10日に参加した「凄腕展」に対する補助対象経費の1/2を補助した。但し、コロナ感染拡大のため、1回目の出展中止となったため、予算の1/2の執行となった。	コロナ禍の中、いかに販売促進につなげていくか。	現代のニーズに合わせた商品の開発に取り組むとともに、その価値の周知に努め、伝統工芸品を守り発展させていく。		○	○	○					○		なし	大阪伝統工芸品展推進委員会他	80	80	コロナ禍の中、1回の出展ではあるが実施でき、伝統工芸に触れてもらえる機会を創出できたことは成果があった。	B		○	

基本目標Ⅳ 未来へつなぐ

Ⅳ-3. 情報の収集、発信

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
2	全課	情報の収集、発信	Ⅳ-3							○	文化に関する公演・講座・各種イベント等を周知するため、広報活動として市内公共施設でのポスター・チラシの配架、HPでの告知に努めた。また、特に文化施設3館では、市内外の関連公演等の情報発信に協力している。	多種多様な情報の収集、発信の手法についての検討や、コロナの影響により急に中止になる事業もあるため、即時に対応できるようにする必要がある	今後も継続するとともに、情報発信と収集の手法については検討が必要。					○	○	○	○	○				0		現在、各課が中心となって広報に努めている。また、文化に関する情報を発信する立場からはいかに収集と発信をしていくかを検討課題としていく必要がある。		A		○

Ⅳ-4. 文化振興基金の活用

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体								
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNS	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
2	文化国際課	文化振興基金の活用	Ⅳ-4							○	文化振興基金は、文化施設の修繕やソフト事業の実施に活用されている。現在、岸和田市ふるさと寄附金事業のなかの一つの選択肢として文化振興基金が位置付けられている。ふるさと寄附金事業を案内するチラシがあり、担当課が中心となって広報活動を行っている。(アートマルシェ事業費・本市育成団体の指導者謝礼・企画事業関係委託料)	原資の確保と、基金の周知活動。	寄附者の満足度を高めていく活用方法を検討していく。					○	○			○		企画課		5,845		現在、ふるさと寄附金事業の周知方法はチラシ・専用ポータルサイトがある。また、基金の活用結果も同様に行っている。	A		○